

手にとった相方は一目惚れだった。

外見で惹かれたのか、名前に惹かれたのか、

理由はきっと私の気持ちを満たしてくれるかどうかだった。

出発までの待ち時間が最初のコンタクト。

第一印象につづく冒頭に旅のはじまりを重ねて、

物語はページをめくるたびに、私の旅と呼吸する。

飛び立つ飛行機が日常を切り離す。

行き先が叶えてくれるのは、いつもとはちがう一日。

私の匂いがしない部屋、指に馴染まない箸、変わりつつける景色。

別世界を語る相方だけが物語の終わりを知っていて、

めくる指先を休めるには、旅の醍醐味を味わうしかない。

休む。休む。休む。

旅のおわりが見えてきた。

いっしょに旅をした相方との別れが近づく。

最後はハッピーエンドだとわかり、

指先が物語をそっと閉じる。

旅行鞆に相方をしまうと、

いつもと変わらない日常が恋しくなっていた。



Traveling with